

# 白い帽子を見るにつれ教育を思います

## 教

育の話が続けます。

前回、ユニークな学校として、秋田の国際教養大学と、大分の別府にある立命館アジア太平洋大学をご紹介します。

日本が明治維新のとき、欧米に食い荒らされなかった一つの理由として、識字率が世界でも高かった、つまり読み書きが庶民でもできるものが多かった、という教育のインフラがあったからやと思います。

日本にとって、もうひとつの節目やった、第二次世界大戦後は、真面目に規則を守り、一生懸命がんばる気質が、日本を経済大国に押し上げたんですなあ。

そやけど、これからは、何度も書いてますけど、柔軟に変化に対応できる人間が必要やと思います。

日本を代表する経営者やった松下幸之助さんの言葉に、こういうのがありました

「雨が降れば傘をさそう。傘がなければ、一度は濡れるのも仕方がない。ただ、雨が上がるのを待って、二度と再び雨に濡れない用意だけは心がけたい」

どうですか？さすがでっしゃろ。

松下幸之助さんは、第二次世界大戦後の日本についても、計画建ててやったんやなく、やってみたらこうなった。これでは

いけないと言ってます。

そして、こういう日本をつくらう。そして世界への奉仕を考え、そのためには教育を……と言ってます。

まず志あって、それを実践することやね。ところが今の企業を見てると、みな維持するためにどうしたらええか、右往左往してる。こんな人が多いのと違うん？

情けないわ。組織はポリシーを持たないとけません。

その点、僕もよう講演行かしてもらいましたけど、トヨタさんは違いますなあ。

**工長さんはオヤジさんと呼ばれて尊敬されています**

トヨタ自動車では、工長さんが被る帽子を、白帽いいます。文字通り白い帽子です。

工長さんと言うのは、工場を統括するチーフリーダーのことです。

こないだまで、副社長やった河合満さんはこの工長さんやったお人で、中学を出てから今のトヨタ工業学園の前身に入り、たき上げで副社長まで上り詰めた方です。

工長さんは、オヤジさんと呼ばれて尊敬されています。白帽



●(株)アオキ取締役会長  
**青木 豊彦** (あおき・とよひこ)



1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。2020年、国立滋賀医科大学学外有識者会議委員に就任。(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事も。

を颯爽と被り、工場を歩くオヤジさんは、現場にいるみんなの憧れだそうです。

こんな人材を、トヨタ工業学園は多く輩出してるそうです。トヨタ工業学園は、中学出てから入り学ぶ三年間全寮制です。そういえば、秋田の国際教養大学も、一年次は寮生活でしたなあ。若いころのそういう生活は、心身を鍛えるのにええのですやろか。

「僕もそうです」と珍しう気色ばんで東京のおっちゃんが出てきました。

「大学に入ったときは、風呂なし、トイレ共同の四畳半で暮らしてました。寮みたいなんです。下宿言うやつで、学生は北海道から九州まで出身者がおりました。下宿生のそれぞれの大学や、出身地の友だちが遊びに来て、お互いに仲よくなって騒いでました。いまでもその時の友だちと付き合ってます。

酒飲んで、議論して……青春でしたなあ」  
あんなあ。

自分をさておいて、言うのもなんやけど。聞いた感じやと、酒飲んで、騒いでただけやないの。まあ、それも青春かもしれんけど、やはり、国際教養大学やトヨタ工業学園のように、勉強するところはきちんと厳しく、と思うけどなあ。

東京のおっちゃんは、コソコソとどこかに行っちゃいました。

**社会のシステムが細こうなって全体がわからないようになってませんか**

少し気の毒やったかなあ。まあええわ。また来るやろ。話つ

づけましょ。

今、僕が思っ

るのは、トヨタさんの、たたき上げのプロフェッショナルである白帽のオヤジが、これからの参考になるのやないか、と考えてるんです。

「木を見て森を見ず」いう言葉があります。

物事の一部しか見ないで、全体を見失うといった意味だと思います。

社会の組織がどんどん細こうなって、全体がどうなってるか、ようわからないようになってませんか。

もちろん、一本の木を見て、その手入れをする人は必要でしょう。

そやけど、森全体を見て、固まりとしての健康状態を見る人が必要です。

トヨタの工長さんは、工場の従業員、製品といった現場全般に目を配りながら、生産性を維持するという使命感を持っています。上からの難題をこなしつつ、時には再考さえも促させるという重大な任務を果たしています。

そんな人材が、今、必要なのではないでしょうか。トヨタさんの白い帽子を見るにつれても、僕は教育はまさに根源やと思



●この本には、河合満さんをはじめ、現場の証言がまとめられている